

NO	団体名	講師氏名	講師職名等	テーマ
1	佐賀県地域づくりネットワーク	本田 節	有限会社ひまわり亭 代表取締役	資源を活かした まちづくり ひとつづくり 元気づくり
	講演内容			研修成果
	1. 熊本地震「ひとくまねっと」によるネットワークを活かした後方支援～熊本震災から学んだこと 2. ふるさとの抱える課題と現状 3. 火の国未来ネットワークの取り組み			参加者:35名 前半は4.16熊本地震の発生、そして後方支援を行わなかったネットワーク①ネットワーク②チームワーク③フットワークの重要性を再確認した。特にネットワークについては「いざという時のネットワーク」これまで出会った地域づくりの仲間から、たくさんの声援が送られてきたことが紹介された。 後半は「ふるさとの抱える課題と現状」と題してこれまでのあり方の話をしていた。地域づくりの実例からみるキーワード、まちづくりに必要なストーリー③サービス④スペシャル⑤サブプライズ⑥スマイソーシャルビジネスを教えていただいた。 県内の団体がこれからも持続的に活動を続けていくための活動のネットワークの強化のためのヒントをいただいたと

NO	団体名	講師氏名	講師職名等	テーマ
2	群馬県地域づくり協議会	本田 節	有限会社ひまわり亭 代表取締役	広域連携によるグリーンツーリズム
	講演内容			研修成果
	1 熊本地震での活動について 人吉球磨の地域づくり団体「ひとくまねっと」による被災者への支援活動の様子を紹介。地域づくり団体間が連携し、いざという時に備えての体制づくりを進めておくことの重要性をご教示いただいた。 2 熊本県内の地域づくりについて 熊本県の地域づくり団体「火の国未来づくりネットワーク」のこれまでの取り組みを紹介。地域づくりを進めていく中で抱える課題やその解決手法を詳しく解説いただいた。 3 ひまわり亭について 講師が経営する農村レストラン「ひまわり亭」が行っている地域づくり活動について紹介いただいた。			参加者:71人 熊本地震における被災者支援活動の話を通して、日中仲間と連携すること、ネットワークを構築することの重要性が協議会においても、団体が相互に連携して地域素養整備を進めていきたいと考えます。 参加者へアンケートを実施したところ、「地域の横のつながりがなければと思いました」「地域づくりの手本としたい」「苦労しながら実践する仲間との心の交流やその実感が多数の感想が寄せられ、それぞれが今後の活動のヒントとして地域づくりへの意欲と熱意を掻き立てられた様子が本研修で学んだことを参加者が各地域・団体へ持ち帰りで、より活発な地域づくり活動の展開が期待できると感じました。

NO	団体名	講師氏名	講師職名等	テーマ
3	沖縄県地域づくりネットワーク	①婁 小波 ②石原 修 ③八前 隆一 ④比嘉 竜児	①東京海洋大学学術研究院 教授 ②コープおきなわ ひと・まち・ものづくりサポーター ③伊江漁業組合 代表理事組合長 ④株式会社琉珉珉 代表取締役	地域創生を目指して ～官民連携の成功事例に学ぶ地域活性化の取り組み～
				講演内容 ①婁 氏 初めに現在政府が行っている地方創生の流れから、6次産業化政策の背景や課題などを、大きな視点からわかりやすく説明した。また、地方創生の中でも経済の活性化について、沖縄モデルを例に、どういった仕組みでどこにどういったメリットが生じたか詳細な解説を行った。 ②石原 氏 伊平屋島で行われた特産品開発「チーム黒糖」と連動したキャリア支援教育「東大塾」で、島の子どもの成績が大幅に上がり、離島の教育問題のハンデをのりこえられた事例や、北大東島で規格外のジャガイモを使った焼酎「ぼてちゅう」を様々な立場の人達が連携して開発、販売し、障がい者就労支援につなげた事例などを発表した。 ③八前 隆一 魚価安、流通、環境問題など、離島ならではの課題を抱えている伊江漁協が、どのような工夫で安定的に収益を上げていったかという取り組みを発表した。また、「イカ墨ぎょうざ墨ちゃん」、「イカ墨ジュシーの素」他社との共同で生まれたヒット商品が、どのような流れでできあがったか、一次産業の現場の視点から加工品開発の具体例を発表した。 ④比嘉 氏 豊作で採れ過ぎ、価格が下がってしまったもずくをどういった経緯で加工品にし、「肝高のもずく餃子」というヒット商品に仕上げたか一連の流れをわかりやすく説明した。その過程で、問屋の人達や、売上金の一部を支援してもらった子どもたちなど、関わった人々が次々にセールスマンとして機能していったことなど、様々な立場の人と協働することから生まれた波及効果を詳細に伝えた。

NO	団体名	講師氏名	講師職名等	テーマ
4	宮崎県地域づくりネットワーク協議会	①池田 誠 ②安部 純子 ③壹岐 拓朗 ④高橋 勝栄	①一般財団法人北海道国際交流センター 事務局長 ②別府市役所 ③元地域おこし協力隊 現 おがわ作小屋村 ④宮崎県地域づくりネットワーク協議会 延岡ブロック代表者	九州沖縄地域づくり会議in延岡
				講演内容 ①池田 氏 北海道国際交流センターでの国際交流プログラムだけに限らず、若者の就労支援や環境保護活動・防災活動など多様な主体との連携による地域づくりの取り組みについてご講演頂いた。また、性別や世代を問わず様々な人々を巻き込む活動を行うことにより、ネットワークが更に広がり、円滑な組織運営にも繋がっているということであった。 また、共同生活での自給自足の共同生活の経験から、共同生活が掲げる「競争社会ではなく協力社会を」という理念が地域づくり活動を行う上でも大切だということだった。 ②安部 氏 NPOアート法人「BEPPU PROJECT」の取り組みや日本一留学生と共存する街での多文化共生事業についての取り組みなどの実践事例をパネラーの一人として発表していただいた。 ③壹岐 氏 西米良村地域おこし協力隊での活動経験から、地域おこし協力隊の理想と現実・今後の展望についてご講演いただいた。また、協力隊員がただの臨時職員で終わらないためには「地域活性化」というある種なんでもありな漠然とした課題に対して、協力隊を採用する側の自治体が明確な方向性を示すことが必要だということだった。 ④高橋 氏 山・川・海・食・歴史とあらゆる側面から「延岡の魅力」についてご講演いただいた。今後は九州No.1の下阿蘇ビーチ(海水浴場百選特選に選出)やマリンドルジャーなどの魅力満載のエリア「ひむか遊パークうみうらら」や「食」を通じたまちづくりの取り組み「東九州バスケ化構想」等、宮崎の「北の玄関口」として延岡の魅力を最大限に発信していくということであった。

実施日
平成28年6月19日(日)
れた経験をもとに3つの 要性を教えていただき ークの素晴らしさ”として 掛けや支援物資、支援金 の取り組みの話、これか 要な8つの「S」①スター② ル⑦スモールビジネス⑧ め、d佐賀県のまちづくり 思う。

実施日
平成28年6月29日(水)
須から地域づくりに関わる 生を教えていただいた。 に取り組んでいける環境 なかりがすばらしい。もっ ゆるすばらしい講演でし 践力に感銘を受けた」な 小を得たのと同時に、改 うかがえました。 計り、検討・実践すること えています。

実 施 日
平成28年8月26日(金)
<p>在を知ることができた。さ マッションに関しても、整 解を深めるための大きな</p> <p>、大変参考になった」「考 :」などの意見が出た。ま ハンドさえも乗り越え、逆</p> <p>竟の中で、「誰でも参加し 人の努力が、経済面だけ つかった。</p> <p>人々が互いに意識を変え た、沖縄はアジアへの展 り信頼度の高さが武器に</p>

実 施 日
平成28年10月1日 (土) ～10月2日(日)
<p>いただき、延岡の魅力や 組みを知ることができる場</p> <p>講師にご講演・パネル 例から地域づくりについ ・民間などの垣根を越え り、重要な課題であると</p> <p>は県内外での連携や協</p>